

バストス週報

第1549号
昭和五十二年
一月二十四日
月曜発行
Director
Koiti Mori
Pedator
Shoho Miyatake
Rua 10 de
Novembro 882
C. Post. 112
Fone. 540
BASTOS
E. S. P.
Annual
Cr. #
85.00
前金
Adiant.

漢流 4

百白くない歳



○あけまして、お目出度う、とお互いに、これは新年の挨拶だから誰の口からも自然に出るけれども、去年の尾を曳いて混濁したまま今年になつてしまつたらしい。ブラジルだけの問題ではないが、物価の高騰が期う激しくは高所得者は別として、一般庶民の生活の逼迫さは実にひどいものである。骨に少しばかり身のついた肉を買つても、家族に行き渡らないと嘆く貧者が多いのである。充ちた衣食をすゝとすれば、最賃の四倍くらい収入がなくてはならぬ。ところが収入の方には限度があつて、余計には払つてくれぬような仕掛けになつてゐる。この収入と支出のバランスをとるのが物価であり、物価の調制をするのが政府だとすれば、どこの国も経済政策（政治）にふりまわされてゐるのが実情であらう。

○現今では物価の高騰を煽つてゐるものは石油であるが、サウジアラビアやアラビア小王国が5%の値上を主張しても、イラン、イラク、アフリカの産油国が10〜15%値上げを言い張つて、どうやら60%台になるもの積だが、石油輸入国は、又々諸物価高となり、庶民の生活は一層貧窮に追い込まれる。

ブラジルやアメリカのように自国に石油のある国は、不足分だけを輸入すればよからうが、消費全量を輸入にたよつてゐる日本などは、どうなることだらう。

二百渾南海宣言のための漁量の多い近海には近づかず、従来のように漁獲を多量に本国に輸入できなくなる。日本人はさしずめの蛋白質の不足を来たすようになり、一尾数百円といった食料をしなければならぬだらう。バストスでも最近は一キロ十二クルセイロである。

○新聞で大豆肉という食品発売されたことを知つたが、また味わつてゐない。今の処生肉の入手が出来なからう。いよいよなものの、今の収入なら、やがて大豆肉に移行するかも知れない。

経済関係がややくしくなると、物価の値上りを押えることも易々とはいへない。今の処生肉の入手が出来なからう。いよいよなものの、今の収入なら、やがて大豆肉に移行するかも知れない。

紅海の夢

(一)

○六〇万人を超えるイスラエル民族が奇跡の地エジプトを脱出して、シナイ半島を目標けて移動したが

SUPER MERCADO TARODA

Rua Adhemar de Barros. 175 Fone: 16



ズメルメルカード
買いいい、安い、何でもそろつ店
ガス、食料品、飲物類一切、雑貨、金物
台所用品、炊事用具、電気、水道用具
○郵便局の遠い方の為に店頭へユビンポスト
を用意し、切手もあります。

アデマルデバロース街一七五番地
ズメルメルカード
太郎田屋嘉衛門
電話 一六番

FLORA BASTOS

T. MORIMOTO & FILHOS LTDA

Rua Duque de Caxias 271, C. Post. 171, Fone 29

森元苗木本舗

電話 二九番

生活安定に備えて果樹園の造成を！！
果樹園成功の秘訣は苗木の良種を造ること
優良な苗木は農林省公認の
ゴウラ、バトス森元苗木本舗へ
御相談下さい

蘭の新種改良種は全宿の知名園と特約して
安価に提供中・果樹園の外植用樹・花木類、庭園
用樹松、杉、桧、ツツジ、ツバキ、ヒメヤシ、モミジ
ワケフ、松葉、ヒイラギ、盆栽用、鉢植用等、
観賞用樹の一切の苗木類、

、どういうわけか北上してエスエス地方へ行かず、紅
海の岸バルゼボンへ到着して天幕を張つた。先着の
部隊が幕を張つているのに後続部隊は、まだ続々とし
て、二十キロも三十キロ行列を続けているのである。
その混雑と無軌道さには、おそろしく目を蔽うもの
があつたであらう。

○一方、エジプト王ファラオは、イスラエル人を聞
放したことを後悔した。かの莫大な岩助民族をエジ
プトから去らしめれば、エジプトの産業はどうなる
か、彼らをただで使用することが出来たために、エ

ジフトは繁栄したのである。そのエスクラホを失っては明日からでもエジプトは大変なことになる。「それ呼び戻せ、つれ戻せ」となったのである。ファラ王は戦軍六百騎を中心によくの軍隊と軍兵をさしむけて脱走民族の後を追わせた。追跡軍来るといふ情報が入るとイスラエル人の間に動揺が起り、「こんな荒地で死骸を晒すくらいなら、いっそエジプトで苦役に従っていた方がましだ」という声である。

「静まれ、静まれ、吾々は神の御導きによって、エジプトを出たのである。エジプト軍が来たとき、何で神様が見捨て給うものか」と、モーセが群衆に叫ぶのだが、今更の間に、エジプトの時代でも、なかなかに隔々まで届かぬものだ。まだ彼らはエジプトを出たばかりだから、混乱したであろうが、彼らにも政治力がなかつたわけではない。

イスラエルは十二支派という部族に分れていて、仲間同志一緒に住み、部族長(長老)もあり、連絡もある。モーセやアロンは支派に属くようになつてた。

○イスラエル民族の先頭に立って、彼らを導いている雲の柱が忽ち移動して最後尾にうつり、エジプト軍を遮ぎってしまった。黒い霧がかかつて前方が見えなくなり、前進することが出来なくなつてしまった。神の奇蹟だと思ふが、これくらいなら、ほんとうの濃霧が湧いたとも解せられるが、次にモーセが打った魔術は、とうてい人力の及ぶところでない。モーセは海岸に行つて海面を杖で一撃したのである。すると忽ち東風が吹き起り、海水は南北に吹き散らされ、海底が露出して徒法でさるのである。この場所が、どの辺であるか、忽論わからぬが、又エズに近いあたりではないかと想像される。何十万という人間や家畜が草もろとも海底を押し流されて行くさまはすさまじい光景であつたにちがいない。映画「十戒」では、この紅海徒法をさわめて現実に表現している。無論トリックだけれども、十数メートルの水壁が波打ち溢れ、その下を何万の民衆が走り流るのである。海底の道幅や距離は画面にはあらわれないが、死物狂いの徒法するさまは、一度見た人なら、眼底に焼きついて終生忘れられない印象を受けたであらう。あの何十万という大衆が紅海を横断した時間はとも二十時間や三十時間ではあるまいが、すつかり流り終ると、エジプト軍は、「それ、逃がすな」とばかり、騎馬や戦軍を乗り入れ、全軍が海底を進んだと思ふころ、対岸のモーセは杖をふるって気合をかける。「と見るまに両側分かれていた海水、勢よくぶつかり合つて、エジプト全員のをのみ込んでしまった。」

○いくら昔話といつても、あんまり馬鹿々々しいではないかと思ふ人も多いだろう。イスラエル民族が士隷

土地譲ります

グロリアア I 区 市街地より

僅か一キロ半の距離

ロッセア 八番 十アルケール

通学児童も歩いて学校へ通えます

家事の都合上好条件にて御相談に応じます

御希望のお方は直接当方へお出下さい
詳細は御面談の上

グロリアア I 区

川村忠雄

階級のエジプトの国家社会から脱出したことは歴史でも認めているが、その脱出途中に起つたさまざまの神枝に対しては、そのまま信じられないのが普通だろう。○紅海物語りも一場の夢かも知れぬが、その後、イスラエルは間もなく飲料水に困り、食糧に行き詰つた。十日や二十日分の食糧は用意できるが、何十年つづくか知れない放浪生活、生産なき旅路では、食糧に困るのはあたり前である。

○第二次世界大戦の時、南洋やフィリッピンに遠征した日本軍は、食糧は現地を整えよとの命令であつた。だが、フィリッピンの山中に籠つた一軍人の手記を見ると、現地人の食料を乱獲したもののように、よく生きのびたものと不思議に堪えない。だから敵弾に斃れるよりも、飢餓や營養失調で死ぬ人が多かつたのだ。戦地で自国兵に食料給出できないような戦争は勝てないのが当然だ。たかも知れない。

○七世紀前の蒙古軍が東欧に遠征した時、兵力五万と称したが、彼らの兵站は羊の大群を後方から追従せしめ、兵馬は一週間の飢渴と粗食に堪えたというから、大したものだ。それでも羊群の後方輸送の力で十年、二十年の戦いを勝ちぬいたのである。羊群は輸送力も生産力も持っているから、皮は衣服になる。未知の敵国に深入りするには兵站力がなければ自滅する、と、七世紀前に教えているのである。

半島の西海岸を放浪している間に飲料水に困り、その都度モーゼは神に頼がって泉や井戸を見つけたが、アラビア地方は古来降雨が少く、激流もない。石油でしかたまに備けたサウジアラビアでは、電力で激流したが砂漠に草を生やすことは出来なかった。ましてや大雪は降雨の少し地方ではオアシス(泉)などは少なかったであろう。だからイスラエル民族が、エジプトを出てから二カ月もたぬうちに食料難にぶつかってしまった。

「エジプトに居た時は大鍋で肉が食べたのに、この旅では、もう何も肉を食っていないよ」と、わめき立てるのである。

「心配するな、明日は空から肉が降ってくるから、飽くほど食うかよい。これから毎朝パンの粉が降ってくるから、食料には困らぬぞ。しかし、この粉は毎日入用なだけ集めてよいが、余分に取ってはいかん」とモーゼは云ったが、果して次の朝空を蔽ってとんで来た鵝の大群を食えて彼らは飽食した。次の朝は白い草の葉のようなものが一面つもっている。蜜のような甘味のある粉である。これでパンを作って食べたが、欲張って余分に取っておくと、虫がわいて食用とならぬ。彼らは毎朝新しい粉をとり集めた。

この粉は「マナ」と命名され、その後イスラエル人がカナンの地に入る迄四十年の長きにわたり天から恵

移転御挨拶

私儀、このたびサンパウロ本店勤務となり聖市に移転いたしました。バストス支店在任中四カ年半、その間顧客の皆様、友人、並びに多くの方々には一方ならぬお世話になりました。紙工をもちまして厚く御礼申し上げます。

移転に当りましては、御鄭重なるお餞別まで頂戴いたし、真に有難うございました。

特に商工会、養蚕家の方々には温情こもった送別会を聞いて戴き表心より感謝いたします。

皆様方に一々御挨拶にお伺い申し上げ可き処、その意を得ず、失礼ながら本紙をかりまして移転の御挨拶といたします。

一九七七年一月十四日

南米銀行バストス支店

高橋 英

バストスの各位様

格に組入れて強要した。シナイ山附近で進路方向もかたまっていない民衆の移動行程中に起り得る摩察について政治的配慮を施したのである。イスラエル十二支派の長老に統治権を与えたり、その他宗教(神との連絡役)を司る多くのレビを立てたり、旅行中一カ所に滞在する時には壮大な宿務所を設けたりして民族の結束と指導を計ったのである。

○ヒ、八十万の民族が大移動するのだから、当然他民族との衝突が起る。話し合で無事に通過出来ることもあり、戦争になる時もあり、実際は武力で押し進むことの方が多かったのだが、イスラエル人が軍隊を装備するようになったのは、シナイ半島を渡すから二年くらいであった。モーセは十二支派の長老に命じて支派内の二十歳以上の青年で戦争に耐える者を募集したところが、忽ち何十万と戦士が出来上った。これらの戦士を部屋部屋に配置して、他民族と戦い乍ら目的地に進んだのだが、この戦況も中々興味があるが、又稿を改めて書くこともあるう。

○迫着の新聞を見ると、イスラエルの汽船が、スエズ運河を通過した記事があった。エジプトの前大統領ナセルが、イスラエル船の運河通過を拒否以来十年ぶりである。エジプトはイスラエルの大戦後の独立をきらって、何度も戦争をしかけているが、勝つたためしはないようだ。

腹背に敵(アラブ)を受けているイスラエルは、吹けば飛ぶような小国ではあるが、なかなか負けてはいない。昨年の七月はじめに中東パレスチナのゲリラにのっとられたエア・フランス機にイスラエル人が八十四名乗っており、テルアビブに捕虜となつて、いるパレスチナゲリラ数十名の釈放と引換えの要求をして、アフリカのウガンダ、エンテベ空港から要求して来た。六日以上交渉がかり、愈々時間切れの前夜、イスラエル空軍は四機のハーキュリス機を出動させてエンテベ空港のターミナルを襲い、人質を救出した事件に御記憶があるだろう。

国際法上からいうと、イスラエルのなぐり込みは非があるだろうが、喧嘩なら受けて立つのかイスラエル式だ。どうせパレスチナなどは国家と認めていないし、ウガンダ共和国だと、ゲリラをかくまうとは何事だ。けんかなら、いつでもやるぞ、という気迫が段り込みを決行させたのだが、出エジプトを断行し、カナンの地を遙かにのぞむ地点にまで遠征しながら老齢のため遂に瞶目したモーセの血が現代に脈を打っているように感ぜられる。

○吾々はアメリカが、アトラス号を次々と打ち上げて月面に人類の足跡を印したことを知っている。偉大な科学の力がああいう放れわざをやったのである。

おしらせ

バストス明老会が発足してより早くも一年たちました。

来る一月二十三日(日)午後一時より、バストス総合会館に於て

バストス明老会創立

一周年祝賀会開催

昨年度の事業報告及び会計報告後、

大福引会

出席者全員に上等のお正月のプレゼント
カラクツ無し

七十歳以上の老人男女(会員)はおさそい合せておいで下さい。御近所の老人に知らせて上げて下さい。茶菓子のみもの、おみやげの用意してあります。

世話人の方は準備のため早目にお出下さい

バストス明老会

各位

又、火星にロケットを打ち上げて、火星の写真を送ったことも新聞を見て知っている。しかし吾々の知識の程度では、フーン、そうかというだけで真に納得するところまでには達しかねる。ロケットの打上げだとして、テレビの二こまを見ただけのもの、いふなれば現代の奇跡として聞知したのみである。

もちろんイスラエル民族の「紅海渡渉」と「月へのロケット」とは同一の基盤の上で論議はできないが、世界の宗教キリスト教を生み出した一神教の母体をもつユダヤ人の先祖が、数十世紀以前に神に導かれて荒野を流浪する間に様々な試練にあたり、奇跡に助けられたりする物語りが生れてくるのも、まるっきりにおかしいことではない。

海洋から島が噴き出すこともあり、陸地が海底に沈んだり、海流が干上がったたりする地変などもあるのだから、それをそのまま神のしわざと解釈してもよいであろう。

お前はどうか？と、つっこまれたら、おどまつながら、神さまなら、どないなことでもできましょらう。

おわり
糸音

移住の思出 (第二部) (三)

梶山双樹

モナアナの生活と今昔

キリスト教によってもたらされた西隣文藝と、仏教に依つてもたらされた東洋文明との遠いには相違ないが、私達にとってはまことに殺風景な、物足りない最初の正月だった。

それから何日か過ぎると、カルナバルがやって来て、コロニアの娘達は、ファッションを振りかけた様に班にお白粉を塗って、見るからう田舎いべスチードを着飾って、近くの耕地の青年達と、ランプとローソクの薄暗い光りの中で毎晩の様に踊り狂っていた。

其の頃、此の長屋には六十歳位の腕の立つ老達の洋裁師がいた。洋裁師などと言えば大変聞えは良いが、その仕立たるや、誠に奇抜なもので、メートル尺など一切使わず、「ウンデード」「ドイステード」と言つては指で布を計つては断ち切っていた。それでも結構コロニアの感達が着飾るべスチードは上等で、粗裁しか知らなかった当時の移民の妻達には羨しいと思える程のものだった。

それから間もなく四月二十九日の天長節がやって来た。移民さん達はコロニアの前の道に集つて、運動会を始めた。物珍らしさで大勢のブラジル人の男女や子供が集つて来た。彼らも交つてさうかな祝目を送つたが、彼等は今迄二度もこんな気の効いた遊びの経験はなく、すっかり日本人に打ち解けてしまった。小さいながらも日伯親善の実を挙げた。

○ 運動会異人が祝う天長節

其の頃の日本人は、三家族も寄れば必ず日本の三大節の一つである天長節は祝つたものである。

耕主郎には季節季節の果物が豊富にあつて、百リースか二百リース持つて行くと、持ち切れない程沢山取りしてくれた。ジャボウカバなど、時に珍らしい果物の一つで、四、五十センチもあるうかと思われる程の太い幹から枝まで黒タイマの様に光つて柔み付けた様に成つてゐる。此のジャボウカバと云う木ブドウは密林の中にあつて狭や土人の太切な食糧だと珍らしい話を遠談の渡辺さんから聞かされた。

其の内に私達の仲間にも病人が出初めた。伊豆出身の須里さんの奥さん加里ベロン、プレットの病院へ入院してしまつた。当時の事で、医学も未だ未解の部分も多く、四十歳とこの若さで、病名もはっきりしないまま、着伯してまだ半歳も経たないうちに亡くなつてしまつた。大変な働き者の奥さんであつたが、過労が因ではなかつたろうか。私の同級生松原軍一君も、着伯三年目に胸を患つて死んでしまつた。気候風土の激変と、過労と粗食と云う宿命の移民の三要素から来たものと思えない頑健な男だった。

斯うした不幸な事が身辺に起ると、思い出されるのは、太平洋の真只中へ水葬にされた奥さんで、夫の許へ愛死を残して鱈の遊泳する海中へ葬り去られる時は皆し船も減速して平意のドラを鳴らしたか、乗船者も全員甲板から見送つた。この時程ゆるせないドラの響きは曾一度も聞いた事はなかつた。

○ ドラの音や雄途も空し月故くる

○ 鱈泳ぐ洋に葬る事悲し

○ 沈み行く梶見送るおほる月

北海通出身の高野さんの七歳に成る長男もまたリベロン、プレットの眼科へ入院しなければならぬ。道徳性の先天的悪質な眼病と云ふ事を、後天的な眼病ならば手の施し様もあるかと云う事で、ついに医者から見放され、僅かに歳で失明してしまつた。

此のワン、ジョゼー耕地は、比較的高白で、健康地と云われていたが、風土病の土負けには皆悩まされた。その上千匹ビッショ、前ビッショと云うお興けまでつした。風土病の土負けから起きる吹き出物を充分手当てせず放つて置く為の蟻が蛆を産み付けるので、とうとう須里さんの女の子の頭へ千匹ビッショが這つてしまつた。

その頃、此のコロニアの日本人の中に風俗のある家族は一軒もなく、近くの小川で、夜になるのを待って、水踏するより外なかつた。毎日汗と臭の重労働で、充分な吹き出物の手当ても出来ず、どうしても不潔に片り勝ちで、まして須里さんは最近奥さんを亡くしたばかりで、畑や家事に忙殺され、子供に訴えられ、始め知つた時は赤く、くすれた皮膚の内面には、一センチ以上にも成長した蛆が数百匹も集つていた。それを見た時は、嘔吐を催し、脳血管を起し、どうな悪態に萎れた。

間もなく長屋の物蔵のブラジル人がやって来た。彼は民間治療をよく知つていて、洗滌石炭と綿線等を練り合せて、消毒はおろか、何もしないで、そのまま患部へ押し込んでしまつた。大変な荒療治だが、或はニコチンが消毒の後目をしてゐるのかも

Organização Social de luto A Regional

Rua Adhemar de Barros nº296 Fone;361 Bastos E.S.P.

Residencia no Local. Faça Bastos crescer prestigionado seu comercio Sobre direção de Aparecido felian ribeiro -

EX.Funionario.da Funeraria São Pedro.

artigos Funeraria prestação de servico, Flor.Coroas Velas

Hossenko.Hihai e artigos para UMBANDA em geral ---

Atendimento pelo INPS e FUN RURAL Atende se dia e noite

葬具店 フネラリアサンペートロ

後藤さんのカソリンボストの向い側で葬具店を開設して居ります。高級棺の外花及び花輪、線香、位牌、十字架等仏式葬具も準備してあり、昼夜受付けて居ります。電話 御命下されば直ちにお宅にお届け致します。尚インプスも受付けます

バストス 中

アデマル デ バーロス 街二九五、電話三六番

和れない。間もなく茶碗大の禿が残っただけで禿禿いさっぱり治ってしまった。此の蛆は千匹も一度に入る処から千匹ビッシヨと時はれている。去勢した豚の傷口や、牛の皮膚などに喰い込む蛆で、彼等土民治療法は列って簡単で、人間も家畜も差別なく、大変な治療だが、治るのも亦意外と早かった。

また牛にこの蛆がはいると、皮革損傷で輸出皮革としては失格する。業者が牧羊の管理を怠らないのはその為である。ずつと後の事であるが、或る友人が、カフェーの木で居寝をして居て、此の蛆が鼻がら入り、脳に達して死亡すると云う事件があったが、それも僅か四、五日の出来事であった。是れなど例外中の例外であっても、随分恐しい蛆である。

殺虫剤のなかつた其の頃は、色々と書虫も多く、砂蚤は乾いた土砂中で孵化し、不潔な犬や子供の指などに喰い込む。この蚤は普通の蚤より小さく、小快は指を不潔にしがうであるからで、爪の間にはいった蚤の卵は大豆粒位の大さきに膨らんできて、土上へ多数産卵する。孵化すると又、犬などへ喰い込む。痒いのだろう。犬はいつも寝そべって足を噛んでいる。たまたま犬小舎へ入ると、砂蚤の大襲撃を受ける事がある。

その頃ノロエスタヤソロバナ地方には未だ未だ怖ろしい風土病があった。

平野植民地に多くの同志と共に築かれた平野運平氏は一九一五年時の総領事の松浦貞雄の依頼を受けて、グワタバラ耕地の副支配人の要職を擲つて、植民地創設に着手したが、未開地つきもの予期せぬ風土病の猖獗に、事業も未だ精に着かぬ内に同志と共に築れてしまった。植民地は三十四歳の若き指導者を失ってしまった。

平野運平氏は、私達の郷里より二十数キロ程離れた蘆田の淡ヶ岳の麓、倉見村の産で、東京外語スベイン語科出身のインテリであった。若し氏が早逝せず、健在であつたらう、日系コロニアの地図も未だ未だ色に塗り変えられていたのではなかつたか。つい最近、同氏の遺徳を忍んで胸像が建てられたと云事であるが、誠に以つて欲ばしい事である。

其の外、フエリダ、ブラーボなどと云う風土病は新聞地の肥沃な土地にあつた一種の腫れ物で、進行すると鼻が落ちるといふ、梅毒によく似た恐しい病気である。

其の頃の耕地生活の人達の間には娯楽などという物は、全く日曜日が来ると、近所のカマラダ（日産）が五人十人と集つて来てブンニールの投げ合いに打ち興じるブンニールと云うのは、先の尖つた刃渡り三十センチ位の一種の兎器で、彼等は木柵を人間と見做して相手を倒す練習をしているのである。ブンニールは古武士の手鎌と同じで、護身用として常に携帯し、暇さえあれば、何時でも起らず練習していた。

ピストルの射撃の練習も、ピール銃位の空銃を切株や木柵の上に置き、四、五メートル先きから突撃を底から撃ち抜く練習で、兎等にこれをや、このける土民青年が居たのにも驚かされた。吾々の様に日本の社会に育ち、兎器の片鱗すらも見た事のない者にとっては考えられない誠に危険な、白昼の兎器遊びである。何処の町へ行つても銃器店の店頭を飾つてある。欲しいと思えば何時でも買えた。兎器の取締りも皆無に等しかった時代で、彼等にとつては護身用でもあり、一種の装身具でもあった。そんな時代だから、地方に

Auto Mecanica BASCAR LTDA

Rua Adhemar de Barros nº 275 - Fone 156 Bastos E.S.P.

Agora em Bastos há um oficina que você esperava, com mecânicos especializada em VOLKS WAGEN e CORCEL. retifica de motores com assistência técnica a preço móbil. a Auto mecanico BASCAR LTDA tudo que você esperava de um Auto-mecanica. Agradecemos a sua preferencia;



オインシナ
開業

皆さんお待ちかねの
ボルクスワーゲン
コルセル車専門の
オフィーナをバストス市
に於いて持設の開業致しま
した。

最新最高の技術を持つ高等
メカニコが、その手腕を駆使して
皆様の愛車のモーターが最高
の性能が発揮するように修理と
調整をして居ります
しかも安く奉仕して居りますから、何
卒御用命下さい

アテマルデ、ハロス街二九五番地
バスカル商会

電話一五六番

は殺傷沙汰の純問がなかつた。其の後ブラジルも大きく進歩して兎器は店頭にも見られず官憲以外はピストルを携帯は許されず、正に痛世の感がある。

隣家の若い夫婦が出ると、代りに移つて来たのは黒人夫婦で、尤も妻はイタリー系白人二世で白、黒、ムラタの三色の子供を連れていた。私達は此の見馴れない異様な家族に驚いたが、其の後、こうした国際結婚も各地で見られる様になり、各人が混血融合して行く事は固是として居る。ブラジルでは純血を守る事は至難であり、むしろ当然過ぎる位当然である。

又私達が若く早々から感させられた事は、譬え土着人であつても、彼等の家庭を訪問すると、恰も百年の知己の如くに接する事である。但し言葉が相手に解かろうと解らまいと、一向におかまいなして、相手と一面無視している様に見えるが、如何にも人懐っこく、彼らブラジル人の持つ解放的な国民性は素朴な日常生活の中にもよく現われていて、吾々日本人が学ばなければならぬ事も幾つかあった。

つい此の間まで隣家に居た白人夫婦も、この混血の子供を持つた夫婦も耕地直営の珈琲園除草請負業で、日本では一寸考えられない職業の人達で、此処では十日、彼方では二十日と渡つて歩く渡り鳥と云うのも亦珍らしく、何が気に入らぬか、私達の隣に三か月も居た。日曜日が来ると妻が勝手元から料理をもつて来ては、女達へ何か分らない事を一人で喋つてはからからと朗らかに笑いを残しては帰って行った。屈託のない、気立の優しい、四十四、五歳の約麗な妻君だったが、残念な事に既にすべてが土良化

して、先進国伊系人の片鱗すらも伺い知る事は出来なかった。
 日旺日など、彼女の家族の食事など見てみると、日本人では一寸常識では考えられない。天気さえ良ければ父子銘々皿を持って、長屋の入口へ腰を掛けたり、表の太い木柵の上に乗ったりして食べている。誰か通りかかると、「セルビード」と云っては皿を持ち上げる。「どうぞすか、少し食べませんか」とも言うのだろうか。これが日常食事時の挨拶である。

前を通る人達と、さも察しげに雑談に耽りながら食べている。誠に飾り気はなく、不自然な所も一つもなく、物にこだわらず、解放的な所は親しみがあった。好意の持てるものだが、行爲そのものは、日本人にはとても真似の出来ない事ではなかった。
 裏の方でも同じように、娘達も母親も、教居に腰掛けたり、表に出たり、誠に無難な食事である。これが所謂土民生活というのだろうか。

そこで私達が実際に直面して真剣に考えさせられた事は、世界の先進国伊系人ですら、あの様に土民化してしまっている、私達もあの様に二世、三世を土民化してしまつてもよいものだろうか。誰かが目的通り五年六年の後故郷へ錦を飾ることが可能だと言う事ならば、敢えて考える必要も付かろうか。しかし、若しも事と理想とが相反したとすれば、当然起る問題は、親が好むと好まざるとの関係なく、二世三世はブラジル国民として同化して行く事だろうか。但し、土民化こそは後退を意味するもので、絶対に避けなければならない。この伊系婦人や青年達を見てもわかる通り、同化と、土民化とは根本的に其の内容を異にするからである。

その後別れるに従つて、近所のブラジル人の家を訪問する様になつたが、皆同じような簡易な生活である。簡易生活と言えは聞えは良いが、むしろ最低の生活と云つた方が当惑るかも知れない。
 ブラジル人のコロノや日産は一カ所に長く留まると云う事はない。常に移動して歩くのが習慣の様で、こうした社会に育ち、こうした社会しか知らない彼等は、それで充分満足している様だつた。耕地では一カ月に一回乃至二回位は豚や牛を殺してコロノにも分けられたが、安い除糞資の中から食糧一切は差し引かれるので、黒字になるのはむずかしく、何れの家庭でも、これがか始まるコロノと採収に多くの期待をかけていた。

耕地は毎日監督が畑を廻つていて、手入れが悪く雑草が伸びて来ると、理由の如何を問わず、無断で直屋の除糞資人に渡してしまふ。彼等の請負う賃金は、コロノが受ける除糞資の何倍にも匹敵する。そんな事が起ると、何れの家庭でもその月の生活を脅かされる結果になるので、日に日に不安が増して来た。
 日本からの所持金のある間は何とか方法もあるが、誰も無制限に持っている訳ではない。家長が果つては前後策を講じて、通訳を介して支配人へ数回に行つた。

其の内に五月が来ると、持ちに持ったコーヒの採集が始まつた。採収賃は一表いくらの請負制だと言つたので紋じ一杯で、コーヒ園の中からは彼方からも、此方からも賑やかな笑い声や叫声、口笛が流れて来た。皆んなこの採収賃で一息つこうと張り切つたが、新米後民が割り当てられた前は五十年、六十年の古木が多く、中には八十年と云う老木もあって、然も今日追肥料といつてもカフィーの精選澤をほんの一部にばら散く位のもので、何十年間も無施肥に近い

採集では、如何に地味豊かなモジヤナ地方と雖も地力の減退は目に見えていた。しかも斜面は表土流失と共に立ち枝が目立ち、地力の衰は甚しかった。

コーヒの採集は何れの耕地でも地上へ枯き落す方法が用いられてゐるが、石山である為め、砂利との混合を防ぐため布を敷いて採集する方法がとられて居た。一本一本樹元へパンを敷く方法は誠に非能率的な事だ。

こうして採集せられたコーヒは又水灌にはうり込まれて、完全に小石と分けられ、始めて乾燥せられるのである。カッフィーの採集の終る頃から、知人を頼つてノロエステヤソロカバナ地方へ移転しようとする人達が段々と現われて来た。新地の大半が見る通り老衰し切つて居る。耕主が期待する程の収穫も得られなかつた。たうろし、移住者が期待を裏切られたのもまた然りでノロエステヤソロカバナ地方へ活路を求めようとする人達が現われるのも亦自然の成り行きであり、一つの飛躍の段階として、多くの先輩移民達が歩んで来た同じ道を新米移民もまた同じように歩こうとして居たのである。

- 乾耕や、蜜を求めの蜂のこと
- ノロエステと聞いて浮き立つ乾耕かな



御 禮

私儀昨年末病氣にてツパン市サンタカーダに入致し加療中、養蚕家の皆様から御郵重なる御見舞を頂戴致し誠に有難く厚く御礼申し上げます。

御蔭様にて十二月三十日退院致し、自宅に静養致して居ります故、他事乍ら御故念下され度く取敢ず退院御報告を兼ねて御礼の御挨拶申し上げます。

一九七七年一月二十日

ウニオン工区

田 中 三 郎

家 族 一 同

バヌトス養蚕家各位様

新法令による所得申告について

此の度びの所得税について政府では、農業者に対して新たに税金を上げて参りました。今迄は農業者が帳簿を持たずに所得申告をする場合、一カ年総売上げの五パーセントを純利益と見て、これに対して課税されて居りました。つまり、百万コントの水揚げがあったとすれば、これの五パーセント、即ち五万コントの利益となります。この利益が所得税計算の元になって居りました。しかし、今回の新法令では、そのパーセンテージが非滞に上りまして、一挙に二十五パーセントになりました。

この場合、モウイメントを百万コントを持って居る農家で帳簿を持っていない場合は途方もない大きな所得税を払わなければなりません。例えば、百万コントの二十五パーセントでは二十五万コントになります。

政府では所得申告を三つは分けて居ります。

- 1 モービメントが二十九万四千クルゼイロス或は尙ほ、帳簿がなくともよいのです。
(つまり、この金額までの所得は税金を払うようにはなりません。)
- 2 モービメントが二十九万四千クルゼイロス額以上二百九十四万六千クルゼイロス額迄の場合には帳簿を持って、それに、デスペーザ、又インベスチメントとして売り上げを明細に書き出します。
- 3、モービメントが、それ以上になった場合は、商工業の会計帳簿と同じ帳簿を持たなければなりません。勿論この場合は農業会社と見なされまして、会計士のアンテナが決算書に必要になって来ます。

この新らしい法律は、税金を上げるための方針ではなく、農業者の方達が、出来るだけ、インベスチメント(投資)を増やすように形をづけた法律であります。

インベスチメントに対しては、ルック口、ブルットに八割の割引があります。正確に言えばインベスチメントは、土地に対してのすべての設備、例えば農機具、肥料、農薬品、家畜、その他を意味するものであります。(投資)

今年の各ブラジルの新聞記事に報導されていた通りに、この新らしい法律によって、モウイメントが約三十万以上の農業者は帳簿を持ち、毎日のモウイメントを出来るだけ明細に記入することによって、正統な所得税を支払うことになるのです。

(農業帳簿につけて御不審のある方は、当事務所でお尋ね下さい。日本語で詳しく御説明申し上げます)

プレジデンテ ヴァルガス街 八九番地

オルガニザツン リオブランコス・C.

アゾボカシア、コンタビリダー、デ、デスパシヨス

石川法律会計事務所

石川 雅 宏

電話 一八〇五番

蒼蒼恨

石川 達三

「何時か帰りになりましたか？」と勝田さんの問いかけるのに「昨年十一月ですわあ、ヴェーノス、アイレス丸をなあ。その息子もなあ、やはり日本の小学校に入れてやりにえと思えましてなあ。連れて戻って親戚に預けて行きますんじや」と堀内さん。「向うにも良い小学校があるさうですか？」

「いや、余り感心せんとお見せえ」

「加那の請書差夫賃銀が下って問題になりましたね、あれはどんなもんですか？」

「なあに」相手は悠然とした調子で言った。「働き居る者あ食えんことありませんわえ。日本と違つてなあ、日本じゃ伏えても食えん言つとりますけんわ」

「さうすりや、やはり日本より良い訳ですか」と勝田さんは膝をゆすつて悦んだ。

「さうですか、まあ、暢気なだけ、ええでひょうかなあ」堀内さんは考えをえ言つた。

「労働が暢気なのだ、と勝田さんは思った。暢気に伏してれば後で行ける。土地は肥えだし、気候は良いし、物価は安い。これこそ地上の楽園であらうに思つた。然し堀内さんはさういう意味で言ったのではなかつた。珊瑚園の労働は日本の農業に劣らず苦しい。変化にも変じない。移民達は誰一人本當のブラジルを知つていない。空想だ。話に聞いたブラジルの良い所に日本が良い所を行き付け加えての空想だ。事実のブラジルは大変なところだ。僻遠の農村はこの世から隔離された別世界だ。隣りの部落までは近くても三里遠ければ十里、そこにはラジカは愚か新聞雑誌は愚か、郵便の配達さえもなし。百姓達は土間に自分で作つて住む。ゆくや食うと寝るより外にやる事もない所だ。猛獣も居れば毒蛇も居れば、いゝるが医者の居る部落は殆んどない。さうしてマリリアの絶えざる脅威がある。その地名も知らず素性も知らぬ毒虫が家の軒に住み土台の間に住んでゐる。そんな事は移民は誰も知りはない。けれどもブラジルへ行った移民達は一向に帰つて来ようとはしない。これは無数の迫害のせいでも、恐ろしいものが日本にあるからだ。日本の農村の浮々瀟々にはまだ行きわたつた文明の毒威に比べれば猛獣毒虫の害はまた何でもないのだ。日本の農村に、どこに農村らしい胎毒と似たものがあるか。生活の絶えざる脅威と圧迫、絶えざる反抗と焦慮、不安と絶望とがあるだけだ。ブラジルには数百年前歩の大地主の簡素な屋敷を取り巻いて二十軒三十軒の浮朴な農奴にも似た農民の家がある。部落の百人、百五十人は全部顔見知りだ。他と交通が少いから十日以上も知らない顔を見ない事もある。法律の有りや無しや、政府の有りや無しやにも無関心に、都では政権奪取の革命が五年ごと十年ごと起るのに、知る人もなく語る人もない。野飼の牛は夕方になると沼地から鳴き下り戻つて来るし、鶏は裏のバナナの下で眠る。閑心事は加那の総りと子供の生長だけである。桃花源の物語にも似た悠々たる生活は、昨日と今日との間に何の区別もなく、昨日と一昨日との間に何の変化もない。堀内さんはこれを指してブラジルの方がいいと言つたのである。彼は加那園に四年間住んだ。世界の事は愚か日本の事をさへも年に一度か二度風の便りに聞けばかりで、言わば何一つ知らず、日の出から日没まで汗だくに打つて働いた。今から思えばそれが楽しかつたのだ。彼が十一月に日本に帰つてからは、岡山県の山の中の養の家にいたのに、どれ程多くの事を知らねばならなかつたか。東京市会議員大塚に次いで藤田謙一の合同毛織事件と天岡直亮の売却事件、山梨半造が益山取引前事件で起訴され小川平吉が私鉄強盗で引けられた。その次に樺太山林事件があり明政会事件もある。最近には現職文部大臣が収賄事件で辞任して今朝は起訴されてゐる。さうした政界財界の腐敗の一方には一月の全輸出解禁とそれに伴う消費節約のドサクサ、引続いて各地生産業者の困窮。さうと財閥の売國的トルメンサ事件と国民の憤慨。二月二十一日には議会は解散された。二月二十日には総選挙。その繁雑さの彼には退却意図、それから工場のレストランと共産党事件の裁判と、次は軍縮会議だ。次々と起つてくるこれらのめまぐるしい事件を毎日知りされるだけでも彼は身も心もさむごむとする様に思ひ、母国の繁華を見るように悲しかつた。むしろ逃げる様な気持ちで出発の日を待つてゐるのである。

翌日は、味噌汁と沢庵漬との朝食が済むとすぐに腸チブスの手防

注射があつた。この注射という事が移民達には突に珍らしい経験である。痛いかかかくなつたとか、痒いとか痛まないとか、それが午前中一杯の話題になつた。

「正午近く、一人の収容前員が和服にソフト帽を二人の男を案内して三階の勝田の室の扉を開けた。」

「九州の中津井さんか人、居ますか？」

中津井さんは「この扉をまくり上げて注射のあとを拝んでいたが、呼ばれると妙におどおどして廊下に出た。彼が一定踏み出した時見知らぬ男は一步近づくと見ると、彼の右手に毒薬の筒を握りかみつけた。刑事であつた。」

中津井さんは黙つていた。反抗しても無意味なことを知つていた。唯さうと顔色を失つたばかりであつた。詐欺。拐奪。――三階の室という室からは人々がどつと廊下へ流れ出した。堀内さん四階まで波及して三階に向つて階を一歩下りて来た。その人波を分けて二人の刑事は中津井さんの腕に筒をあみだにのせて階段を下りて行った。

室の中では残された女房が泣き崩れて、三人の子供は泣き崩れず母に取りすがつてわつと泣いた。勝田さんの娘はこの女房が怖ろしくて廊下へ逃げ出して隠れてた。堀内さんは悠然として消息をついた。何というあつたらしい日本だろつと、そして泣いてゐる子供の一人を膝の上で抱き取ろうとしたが、子供はふりもぎつて母の腕に飛びついて泣いた。

「あんなにねはア。悪い事すんもんでねえなア。こわやこわや」と言つてこゝろりと構になつた。

「日本を逃げる気だいたべな」と妻原さんが言つと、大塚さんは大きく首肯してかう、

「ソだねじや、ソだねじや、ブラジルへ行つたら真面目に働くつもりであつたかも知れぬな」と、考えをえ言つた。

「買込かしてや、こども果ねえもんだか知らぬやあ」と孫市は眼をうるませて言つた。然し此の者は元気で活発でよく悲しむ事の出るやうな男だ。三つも経つと朝もなつた。日暮れになると涙が出るやうな男だ。そして彼の生活が門馬さんの妻さんには氣に食われないのだ。妻さんは風邪で熱が少いあつた。つつく

御礼

金一封宛

右は御母屋故照井ヨシヲ様御他界の御追善のため別高進に預りました厚く御礼申上げます。

照井秀夫様

バスト又南米本時寺
バフト又仏教婦人会

Oficina Kumoto
Av. Tamoio 550, Fone: 1948 TUPÃ S.P.

各種冷蔵庫並に家庭電気器具
類一切の修理の御用はソパ市の
久本修理工場へ安価丁寧迅速

ソパ市アベニダ タモイオ五五〇番地

久本修理工場
ソパ市電話一九四八番

お問い合せはバストス水口パール
へ御連絡下さい

Deposito de Madeiras Paraná

Rua Tapajos 140. Fone 2229 TUPÃ E.S.P.
Kaname Tamaki cia. Ltda

Materiais para Construção em geral bruta e aparelhados Portas vitros. Lajotões colonial, formicas, telhas brasilite e francesa, tinta cal, cimentos - pedras, areias fechaduras aglomerados, pregos, dobradiças compensados - duratex, forro tacos, venezianas de madeiras e metalicas; 建築用材料一切、木材、ホルタ、入口半窓枠、コロイ扉木製と金属製、床板、タイル、ホルミカ、クッコ、瓦、フランセーザ、フラジリッチ、天井各種、石、砂、砂利、石灰、セメント、サンタ、水道用具、下水用具、金物、釘、蝶番、錠前各種等々々 建築に必要な材料は何も揃って居ります

建築材料専門商

ツッパン市田巻商会

ル7. タパージョス 140 電話 2229 ツッパン市

NOSSA RELOJOARIA

TAKAMI SHIBATA Rua Adhemar de Barros 213 Fone 154

高級腕巻時計が一番です
ポケット用電気計算機、万年筆
カラーテレビ
テレビの放映は愈々全部カラードになりまして、色彩放送はカラーテレビで見なければ半分の価値もありません。カラーは色が美しいだけでなく、音も細かく、音が良いのです。
ステレオグラブドル
レコードもテレビも全部ステレオで吹き込んでありますから、ステレオのマイクで聞かないと、半分の価値もありません。お試し下さい
結婚祝のプレゼント色々

柴田時計店

電話 一五四番

Aviso de Cine Pastos

一月二十三日(日)九時半 二十四日(月)八時 監督 山根成之
松竹芸 西條秀樹 中川三穂子 後日あきう
映機携 早乙女愛 仲 雅美 高岡健二
作書彩 坂上大樹 南 陽子

一月二十八日(金)八時、二十九日(土)九時半
東映 傷だらけの人生 鶴田浩二 待田京介 北林早苗
総天 泣木綿子 大木 実 天知 茂
然色 長門裕之 藤原辰夫 若山富三郎
(古い奴でござんす) 露か白く濡れる、仁義世の暗闇に、弟求めて鶴田浩二、

一月三十日(日)九時半 三十一日(月)八時 監督 鈴木則文
東映 トラック野郎 菅原文太 春川ますみ
総天 夏川欽也 佐藤 允
然色 夏川結子 その他、

二月四日(金)八時 五日(土)九時半 監督 山口和彦
東映 銀蝶渡り鳥 榎芽衣子 梅宮辰夫
総天 渡辺恒彦 石井富子
然色 小山明子

二月十一日(金)八時 十二日(土)九時半 監督 坪島 孝
東映 愛のきずな 園 まり 原知佐子 千石規子
総天 藤田まこと 山茶花宛 堺左千夫
然色 松藤 允 左とん平 小栗一也

二月十三日(日)九時半 十四日(月)八時 監督 山本迪夫
東映 悪魔が呼んでいろ 酒井和歌子 今井健二
総天 新克利 西沢利明
然色 藤木 孝 北林早苗

卒業記念入学祝進学祝

記念としてのプレゼントは

高級腕巻時計が一番です

ポケット用電気計算機、万年筆

カラーテレビ

テレビの放映は愈々全部カラードになりまして、色彩放送はカラーテレビで見なければ半分の価値もありません。カラーは色が美しいだけでなく、音も細かく、音が良いのです。

ステレオグラブドル

レコードもテレビも全部ステレオで吹き込んでありますから、ステレオのマイクで聞かないと、半分の価値もありません。お試し下さい

結婚祝のプレゼント色々

アテマルデバロス街 二一三番地

レローショアリアタカミ

柴田時計店

電話 一五四番